

当組合の概要（令和7年3月31日現在）

名 称 愛知県中央信用組合（略称けんしん）
本店所在地 愛知県碧南市栄町2丁目41番地
創 立 昭和28年7月8日
出 資 金 2,389百万円
組 合 員 数 31,479名
店 舗 数 12店舗
役 職 員 数 164名
預 金 1,648億円
貸 出 金 1,028億円
ホームページ <https://www.aichi-kenshin.co.jp/>



CONTENTS

けんしんの経営体制

ごあいさつ	2
経営理念、第八次中期経営計画	3
令和7年度事業計画	4
事業の概況	4
経営指標等の推移	5
マネー・ローダリング、テロ資金供与対策 及び拡散金融に係る対応方針	5
コンプライアンス態勢の強化	6
リスク管理態勢の強化	7
開示債権の状況	9
顧客保護等管理態勢の強化	10
苦情処理措置及び 紛争解決措置等の概要	12

地域社会への取り組み

お客様満足度向上への取り組み	13
トピックス	15
地域貢献に関する取り組み	16
中小企業の経営の改善及び 地域の活性化のための取組状況	17

けんしんの概要

総代会制度	20
組織・役員一覧	23
営業地区・店舗一覧	24
業務のご案内	25
手数料	28
沿革・歩み	31
資料編	32



イメージキャラクター

は一とくんです。

よろしくお願いします。



平素は愛知県中央信用組合に格別のご愛顧、お引立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

このたび、令和6年度（第72期）の業績及び経営の状況をご報告し、私どもの取り組みについてご理解を深めていただくために、「KENSHIN DISCLOSURE 2025」を作成いたしましたので、ご高覧いただければ幸いに存じます。

さて、令和6年度の日本経済を顧みますと、コロナ禍を乗り越え、大手企業を中心とした賃上げ継続機運を背景に景況感は改善し、緩やかな回復傾向が続いております。7月には日経平均株価が史上最高値となる42,000円台を記録し、日銀のマイナス金利政策解除もあり、デフレ脱却に向けた大きな転換点を迎える年となりました。その一方で経済政策に対するグローバルな不確実性は依然として高い状態にあり、中国経済の先行き懸念やロシア・ウクライナ問題及び中東情勢などの地政学リスク、アメリカトランプ政権の政策変更など、経済環境は見通し難い状況となっております。特に、関税問題については米国貿易赤字の是正が期待される一方、インフレの誘因に伴う経済減速や報復措置も想定されることから、その影響には留意が必要です。

令和6年度は、「けんしん」の第七次中期経営計画の最終年度であり、地域金融機関としての強固な経営基盤と確固たる地歩を確立するための諸施策を進めてまいりました。

その結果、業容面では、預積金期末残高1,648億円、貸出金期末残高1,028億円、当期純利益74百万円の計上となりました。また、自己資本比率は国内基準4%を上回る9.91%を維持しております。これも皆様のご愛顧の賜物であり、深く感謝申し上げます。

令和7年度「けんしん」は「HEARTS AND COMMUNITY」の経営理念の下、新たな第八次中期経営計画をスタートさせました。メインテーマに「優先出資消却に向けた経営基盤の強化」を掲げ、地域に貢献できる健全性の高い信用組合を目指します。

当組合は、今後も組織強化と人材育成に注力してまいりますとともに、法令遵守及び内部管理態勢の充実・強化を図り、より地域に根差した金融機関「けんしん」として、その独自性を発揮し、皆様方のご期待にお応えできるよう、役職員一同、なお一層の努力をいたしてまいります。

今後とも格別のご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

令和 7年 7月
理事長 森 茂樹